

実証実験の概要

実証実験の概要

目的

- ・地域発意でのまちづくり協議会の立ち上げに向けて、千代田区まちづくりプラットフォームが、初動期にどのような支援を実施することで、円滑に進めることができるか、知見を得るために具体の地域で支援を試みています。

対象範囲

- ・実証実験は、神田神保町1丁目～3丁目を対象に実施しています。



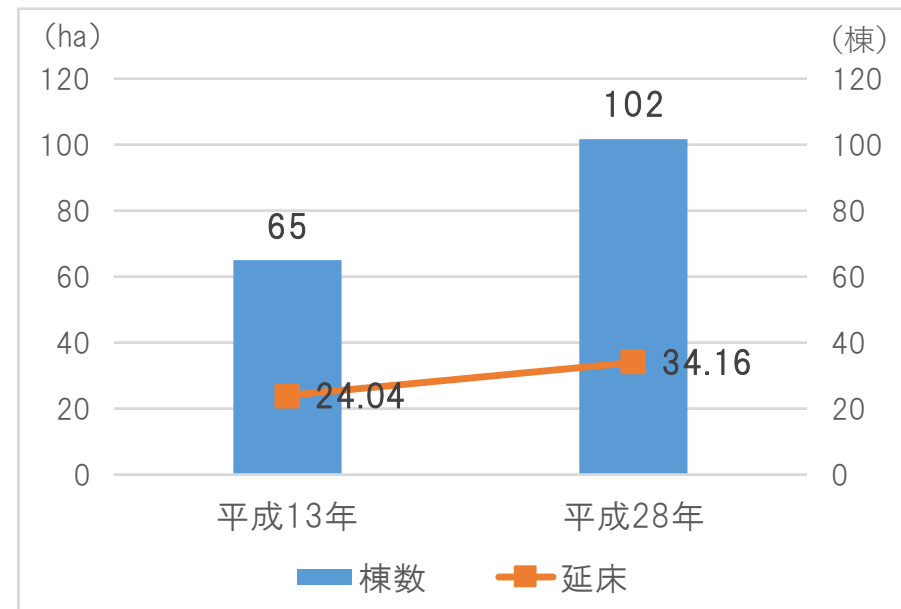
神田神保町地域の状況

建物老朽化に伴う建物更新が懸念されています。

- ・ 神保町は古書店街としての歴史を持ち、戦災での被害も少なかったために、現在でも歴史的なまち並みが残る個性あるまちとして賑わいを見せています。
- ・ その一方で、建物の老朽化やそれに伴う建て替えの懸念（駐車場付置義務条例による1階部分の駐車場化）がある状況で、マンションが増加しています。



さくら通りの様子

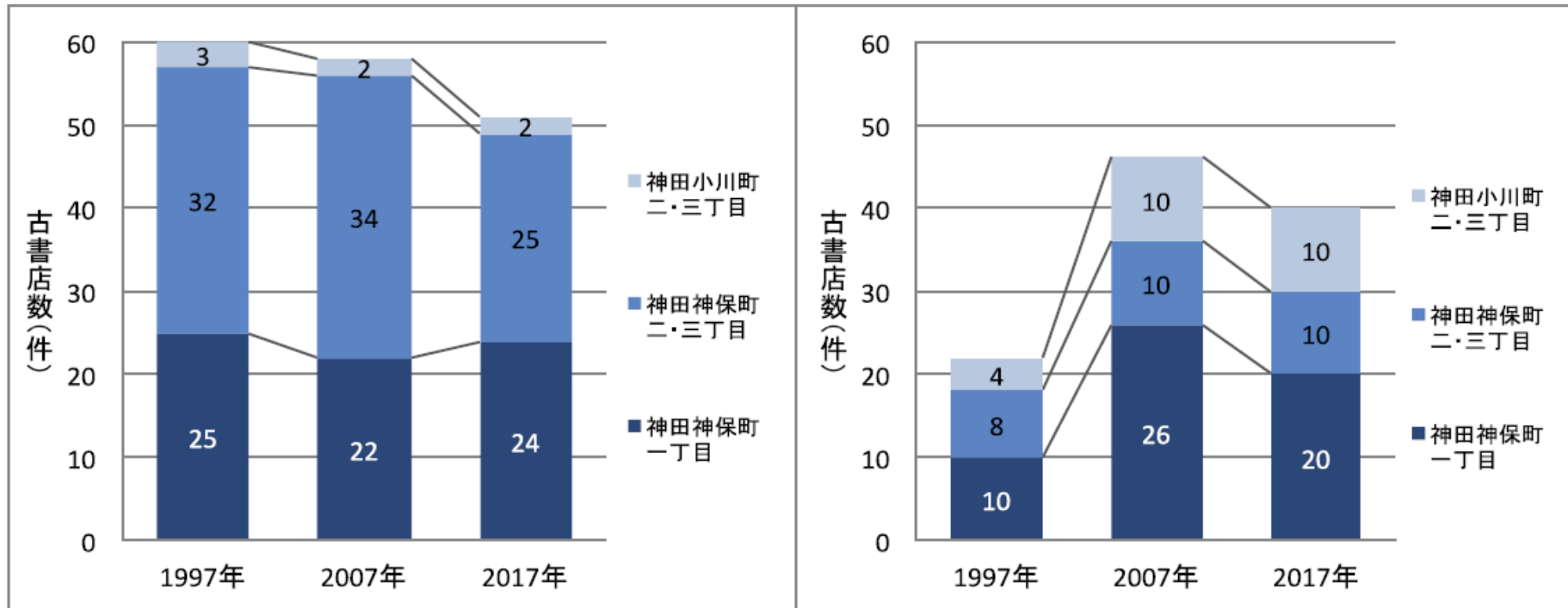


集合住宅の棟数

神田神保町地域の状況

古書店も近年減少傾向にあります。

- ・ 神保町の古書店の総数は、2007年からの10年間で減少しています。
- ・ 特に、靖国通り南では減少が著しく、裏通り北でも2007年以降は減少しています。

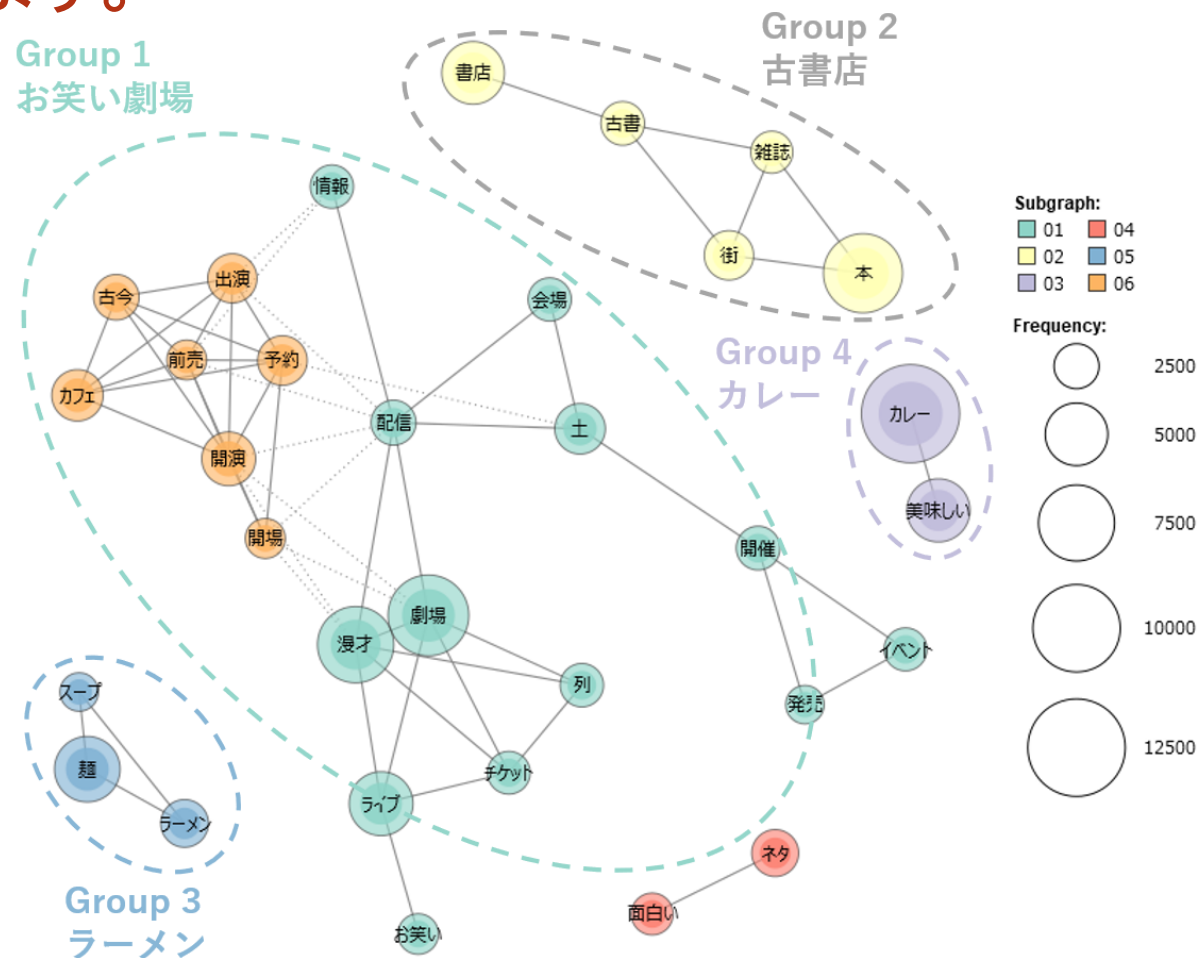


古書店数の推移 (左: 【靖国通り南】 右: 【裏通り北】)

神田神保町地域の状況

“古書”以外にも多様な魅力があります。

- ・「神保町」というワードを含むX (旧Twitter) の投稿を収集し、関連して良く出てくるワードを抽出すると、古書関連だけでなく、“カレー”や“お笑い劇場”、“ラーメン”についても多く検索されている状況です。
- ・若い世代を中心に、多様な魅力を感じていることが分かります。



平日・休日を合わせたツイートのテキストマイニングの結果

神田神保町地域の状況

地元の方々に考え、話し合う機会が必要です。

- ・このような状況については、これまで千代田区へ個々に声が寄せられていることはありますが、関係者が集まって検討するような機会までは至っていないのではないかと考えています。
- ・古書店の継承や商店街のまち並みなど、神保町を将来どのようなまちにしたいか、地元の方々に考え、話し合う機会が今後必要な地域です。



古書店街



神田すずらん通り



学生街

支援の概要

まずは、第三者が支援するための体制づくりに向けてサポーターを選定しました。サポーターと事務局と一緒に、地元への入り方を考えるなど、丁寧なプロセスを経て地域に入ることを試みました。

STEP1. 検討体制づくり



サポーターの候補リスト作成



検討会の有識者と協議



サポーターを選定

支援の概要

具体的には、サポーターズでの協議を踏まえ、リレー形式で情報収集をしました。

STEP2. 情報収集

“まち” に対してのみんなの想いを集める

コミュニティ・
人情を大切に
したい

古書店を
大事に
したい

学生のまち、
カレーも
人気



まちづくりに精通したサポーター
(専門家) が実施しました。

実施期間	令和5年11月13日～12月8日
実施方式	対面で実施
実施時間	実施時間は概ね1時間以内
対象者	町会関係者や商店組合、店舗経営者、土地所有者、神保町関係者など28名

ヒアリング対象一覧

居住歴	就業歴		
神保町生まれ 又は長く居住	店舗経営	書店・古書	3名
		それ以外	7名
	貸しビル業		6名
	それ以外		5名
上記以外	店舗経営		4名
	それ以外		3名

神保町の魅力として感じていること

神保町の魅力を聞いたところ、大学が多い学生街であること、交通の便が良いこと、古書店街、商店街や魅力的な店舗が多いこと、人の繋がりが良いこと、まち並みなどをあげる人がいることが分かりました。

若い学生が
いきかっている
ことも魅力！



交通の便が良い！
歩いて全てが
済ませられる！



古書店街がまちの顔に
なっている！



神保町の問題として感じていること

マンションの増加、チェーン店の増加・個人商店の撤退など、直接的なまちの変化について問題と認識している人が多いことが分かりました。特にワンルームマンションに対して問題と認識している人が多く、また町会の維持、住みよいまちでなくなっている、居住者の入れ替わり、人の減少など、コミュニティ問題に対する問題意識が高いことも分かりました。

マンションが増えていった結果、
景観・まちなみが
変わってしまった。



昔は書店だけでなく
本屋や花屋など、
個人商店がたくさん
あったが、目に見えて
減っているのは寂しい。



若い人との
コミュニケーションが
希薄になっている。



神保町のまちづくりに望むこと

まちづくりを進めるに当たり、将来像を考えることが重要という意見が多く出されていました。また、古書店街の維持・存続、商店街の維持・活性化、地元事業所・個人商店の存続、住み続けられるまちなど、具体的なテーマを上げる人が多く見られました。多くの人の参加、住民主体のまちづくり、情報の共有などまちづくりの進め方に対する意見も出ていました。

文化的なまちであって欲しい。
神保町のブランドを
続けさせるのが大事。



チェーン店ばかり
ではなく、今残って
いる店がうまく続け
られることを期待。



今後もオフィス、
マンション開発が
進むと予想されるので、
周辺の町会とも一緒に
何かできると良い。



今後の予定

ヒアリング結果のフィードバックと、意見交換会を開催します。

STEP3. 協議

集まった想いを参考に、何に取り組むかをみんなで考える



意見交換会の概要

- 開催時期
 - ・ 3月中旬の夜を想定
- 場所
 - ・ 未定（神保町区民館を想定）
- 開催周知方法
 - ・ まちづくりニュースにて事前周知（町会・商店街に回覧を依頼）
 - ・ 千代田区広報